

平成28年度行政事業レビューシート (法務省)

事業名	刑事情報連携データベースの開発・構築			担当部局	大臣官房		作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	秘書課 政策評価企画室		政策評価企画室長 阿部 健一			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	再犯防止に向けた総合対策(平成24年7月20日犯罪対策閣僚会議決定) 「世界一安全な日本」創造戦略(平成25年12月10日閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	検察庁、矯正施設、保護観察所等が保有する対象者情報を共有し、一元的に管理するデータベースを構築した上で、当該情報を処遇や調査研究等に活用することはもとより、再犯リスク要因等を分析・把握した上で、対象者のニーズに応じた働き掛けを行うための施策等を充実させるとともに、それぞれの施策が再犯防止に真に効果があるかを検証し、効果的と認められる施策を重点的かつ集中的に展開し、もって刑務所出所者等の再犯防止を図ることを目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	検察庁、矯正施設、保護観察所等がそれぞれ保有する対象者の情報のうち相互利用に適する情報を共有して一元的に管理し、処遇の充実、施策の効果検証、再犯要因等の調査研究への活用等を可能とするための刑事情報連携データベースを開発・構築する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		当初予算	-	84	376	365				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計	0	84	376	365	0				
	執行額	-	84	362						
執行率(%)	-	100%	96%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	平成28年度にシステムを構築し、システム稼働率99%以上を維持する。	開発進捗率 平成28年度にシステム構築を完了することから、中間目標の設定は困難である。	成果実績	開発進捗率	-	12	63	-	-	
			目標値	%	-	12	63	-	-	
			達成度	%	-	100	100	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	刑事情報連携データベースのデータ作成件数	活動実績	件数	-	-	-				
当初見込み		件数	-	-	-					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	年間執行額/データ作成件数	単位当たりコスト	円	-	-	-				
計算式		X/Y	-	-	-					
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	情報処理業務庁費	365								
	計	365	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	-											
	施策	-											
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
	アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-									
		KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
				成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
目標値				-	-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													
事業所管部局による点検・改善													
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	刑事手続等の各段階における広範かつ有機的な情報連携体制を構築することは、政府全体で推進している「再犯防止に向けた総合対策」に明記されている。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	検察庁、矯正施設、保護観察所等の刑事司法関係機関が使用するシステムの開発に係るものであり、地方自治体、民間等への委託には馴染まない。							
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	政府全体で推進している「再犯防止に向けた総合対策」全体の基盤となるものであり、同対策を一層推進するためにも、その優先度は高い。							
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△	本事業の入札は、すべて総合評価入札を採用しているところ、機器の賃貸借契約のみが一者応札であった。なお、機器の賃貸借契約は、先行開発しているシステム（データベース開発・構築）を搭載するための機器調達であるところ、複数事業者が参加可能となるよう、仕様書配布時には、必要な機器の指定や搭載するプログラムの情報等を整備し、入札に臨んでいる。							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有								
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	専門業者による調査・調達支援に必要な経費を計上済。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				-								
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	検察庁、矯正施設、保護観察所等が個々に保有する情報を有機的・効率的に収集・分析するためには、手作業では実現できない。							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				-								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-								

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	<p>予算要求から契約締結に至るまで、必要に応じて、外部専門家(政府CIO補佐官)に相談するなどして、委託業務の内容が効率的かつ効果的なものであるかを第三者の視点でも検証している。</p> <p>また、企画競争による調達の実施に当たっては、調達プロセスの競争性、透明性及び公正性を担保するため、CIO補佐官同席の下で提案業者による提案内容の説明及び質疑対応を行う機会を設け、特定の者が有利とならないよう配慮した。</p>				
	改善の方向性	上記取組を引き続き推進し、経費削減に努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	新26—0002	平成26年度	新26—0001	平成27年度	0070	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

法務省

362百万円

〔 刑事情報連携データベース開発構築に必要な
経費 〕

【総合評価入札】

A 株式会社日立製作所

259百万円

〔 刑事情報連携データベース
設計・開発等に係る業務 〕

【総合評価入札】

B 日本アイ・ビー・エム
株式会社

78百万円

〔 刑事情報連携データベース
プロジェクト管理支援業務 〕

【総合評価入札】

C 株式会社日立製作所

25百万円

〔 刑事情報連携データベース
機器賃貸借に係る経費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	システム設計、開発等業務	259	雑役務費	プロジェクト管理支援業務	78
	計		259	計		78
	C.			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
借料及び損料	機器賃貸借	25				
計		25	計		0	

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所	7010001008844	システム設計、開発等業務	259	総合評価入札	4	88.1%	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本アイ・ビー・エム 株式会社	1010001128061	プロジェクト管理支援業務	78	総合評価入札	2	89.2%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立製作所	7010001008844	機器賃貸借	25	総合評価入札	1	99.9%	

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック